



財政の しおり

(かのやの予算)



令和2年度版
鹿屋市 総務部財政課

目 次

はじめに	1
予 算	3
歳 入（1年間の収入）	6
歳 出（1年間の支出）	8
令和2年度の主な事業概要	12
決 算	19

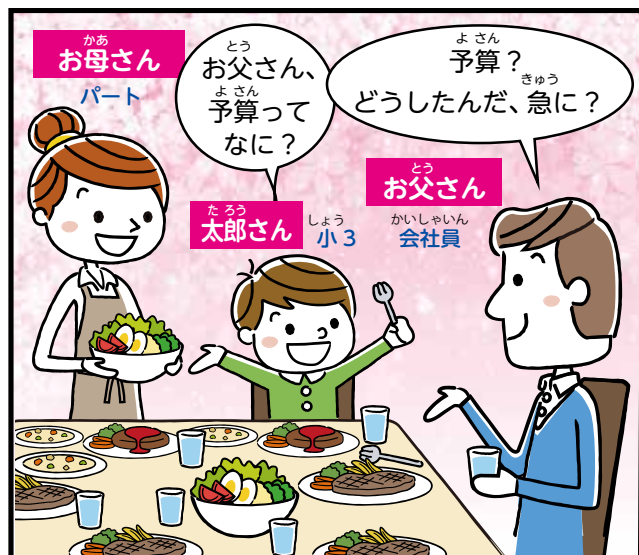


はじめに

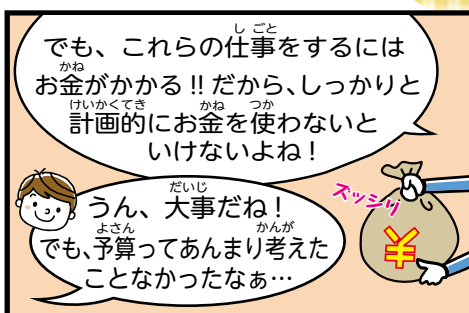
■ 財政って何？

○国や地方公共団体が、収入を確保して、住民のための仕事に経費を支出する経済活動のことを財政（地方財政）といいます。
そして、みなさんの生活と「鹿屋市の財政」には深いつながりがあります。この「財政のしおり」では、その関係や鹿屋市が実際に行っている「仕事」などについて、紹介していきます。

★ある日、太郎さんの家の食卓で…。



通学路や公園の整備、家から出される
ごみの処理なども市の仕事なんだよ！



- 「鹿屋市立の小中学校」は、鹿屋市が管理運営しています。また、「通学路や道路」の整備、毎日使う「水道」、本を借りに行く「図書館」、遊んだり散歩したりする「公園」の管理や整備も鹿屋市が行っています。

でも、鹿屋市がこれらの仕事をするにはお金がかかります。

そこで、鹿屋市の仕事にかかるお金の使い方を決めたり、使えるお金がどれくらい集まるかを予測したり、計画しなければなりません。また、予定どおりにお金が集まったか、しっかりと使われたか確認をする必要もあります。

これらの、

お金をどのように使うか1年ごとに計画したものを 予算

その予算を1年間使ったあとで確認することを 決算

と言います。

もし、市の仕事ができなくなったら・・・

■安心して歩けない！

- 道路を通っていろいろな場所へ出かけますが、道路が穴だらけだったらどうでしょうか。とても危険ですね！
穴を直したりするにはたくさんのお金が必要です。



■安心して歩けるね！



■たいへん、ごみが山盛り！

- 毎日の生活の中で排出されるごみが処理されないとうなりますか。
大量のごみが家中、町中にたまってしまいますね！



■きれいな町！



■楽しく学校生活が送れない！

- 小学校や中学校の授業が有料だったらどうでしょうか。
校舎や机・椅子が壊れたままだったらどうでしょうか。
安全に楽しく学校生活が送れますか？



■楽しい学校生活！



※計画的に予算を使って、仕事を実行！



スマホアプリ「かのやライフ」を始めてみましょう！

※道路危険箇所通報機能やごみ分別辞典、各地域のごみ出しカレンダーの閲覧など、生活を便利にする機能が満載です。
(ダウンロード方法など、詳しくは裏表紙をご覧ください！)



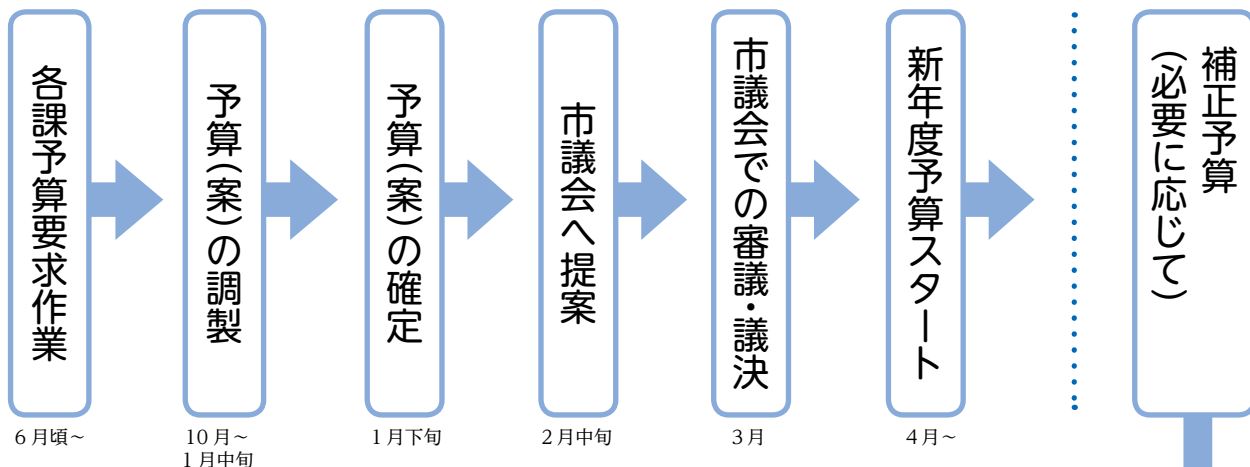
予算



■ 仕事をするための『予算』はどうやって決めているの？

○予算は、市民の皆さんの安全・安心な生活を守ることや暮らしを豊かにするための活動、将来のまちづくりのために計画的にやるべきことなど、いろいろなことを考えてつくられ、市議会へ提案されます。

市の予算ができるまで

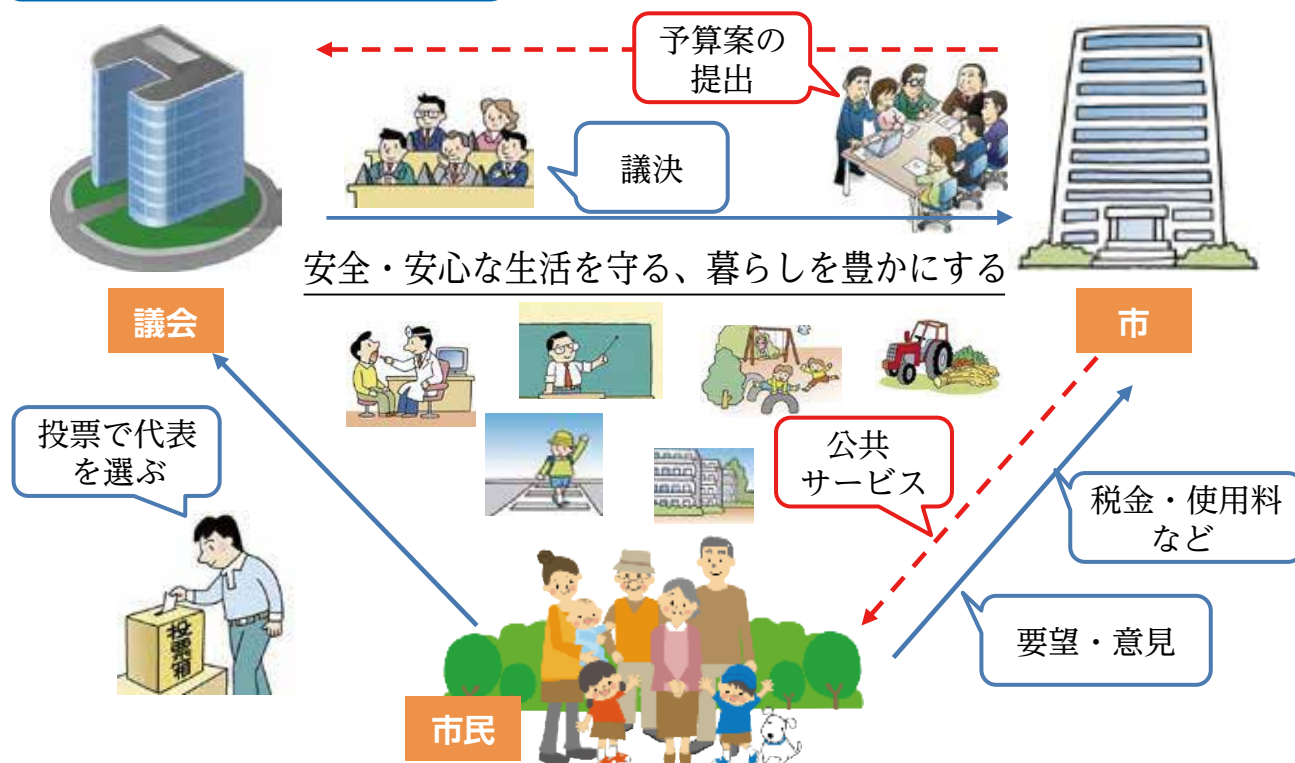


例えば、自然災害の影響などで、当初の予算では予定していなかったお金が必要になった場合には、それに対応する予算(案)を作成し、市議会へ提案します。

このようにしてつくられる予算を「補正予算」といいます。



予算とそれぞれの関係



令和2年度の鹿屋市の予算

鹿屋市の予算は、一般会計、特別会計の2種類と独立採算による特定の事業を管理する公営企業会計の、合わせて3種類の会計（お財布）があります。

■ 一般会計

- 一般会計は、福祉、教育、道路整備などの基本的な行政サービスに必要なお金を管理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金を出し入れするお財布です。

令和2年度の当初予算の額は、534億円となっています。



534 億円

■ 特別会計

- 特別会計は、国民健康保険事業の運営など、特定の目的のための会計で、お金の出入りをはっきりさせるために、一般会計とは別にしています。鹿屋市には、「国民健康保険事業」や「介護保険事業」など3つの特別会計があります。

- 国民健康保険事業特別会計・・・115億2,831万9千円
- 後期高齢者医療特別会計・・・13億7,617万2千円
- 介護保険事業特別会計・・・114億5,543万1千円



243億5,992万
2千円

■ 公営企業会計

- 民間企業と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行っている会計です。

鹿屋市には、水道事業や下水道事業に必要なお金を管理する会計があります。

- 鹿屋市水道事業会計・・・24億9,010万2千円
- 鹿屋市下水道事業会計・・・15億5,525万4千円

※予算額については、収益的支出と資本的支出の合計額

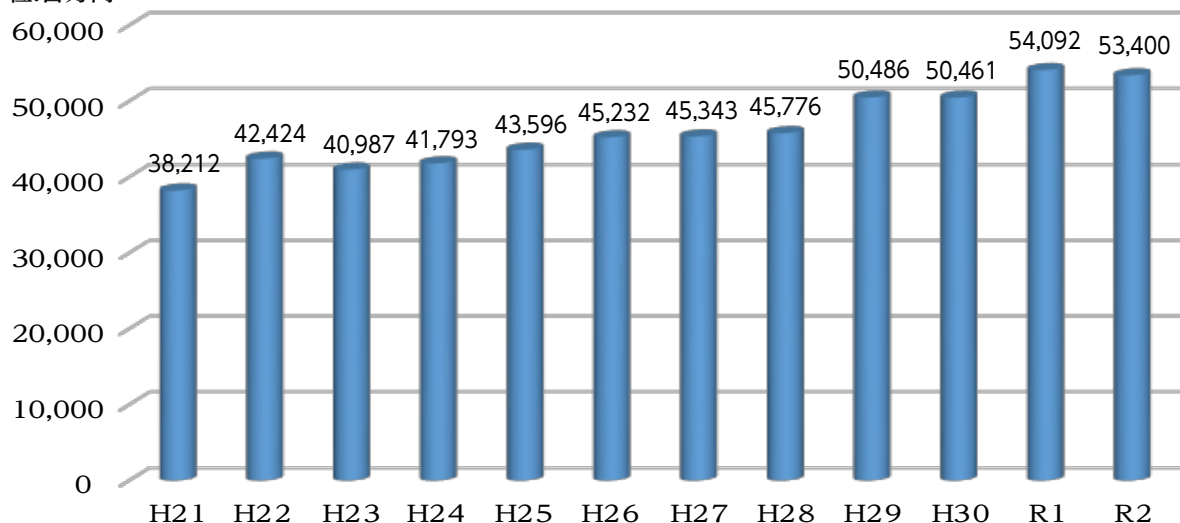


40億4,535万
6千円

一般会計予算規模の推移（当初予算）

※ H 22、H 26、H 30 は、6月補正予算を含む

単位:百万円



- 国の政策による子育て支援などの福祉制度の充実等を要因に、一般会計の当初予算は、10年前と比べ増加しています。

● 歳入（1年間の収入）

※ここからは、市民のみなさんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計を例に鹿屋市の予算について説明します。

■ 仕事に使うお金は、どうやって集めるの？

- 市民のみなさんに納めていただく税金や施設の使用料、仕事をするときに国・県から交付されるお金などが主な収入になります。
また、学校や道路など、長い期間みんなで使うものを整備するときには、市債という借金をすることもあります。

市の歳入には、「自主財源」と「特定財源」があります。

■ 自主財源

- 市民のみなさんに納めていただく市税や施設使用料など、鹿屋市が自主的に財源として集めることができる収入



■ 特定財源

- 道路や施設を建設するときに国や県からもらう補助金や、借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入



鹿屋市の令和2年度歳入予算の総額は『534億円』！

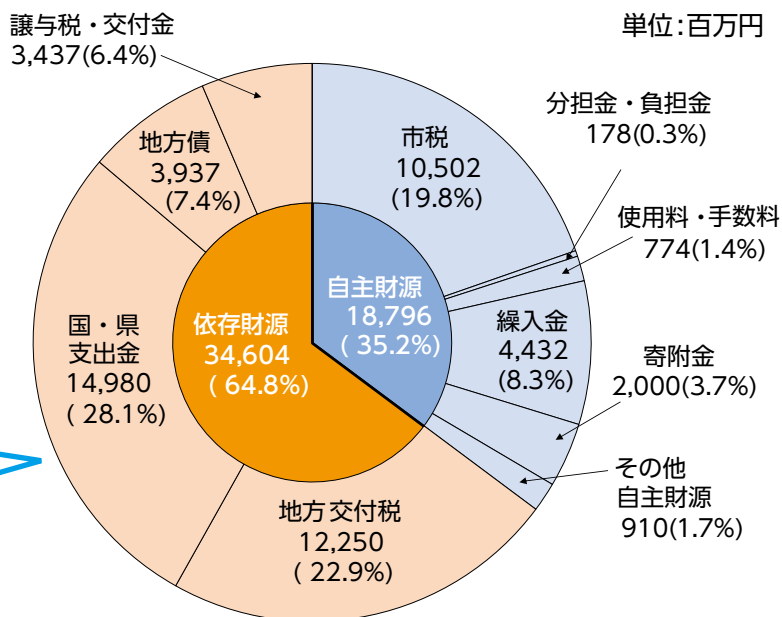
単位:百万円

歳入科目		説明	予算額	構成比
自主財源	市税	市民のみなさんから納めていただく税金	10,502	19.8%
	分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担いただくお金	178	0.3%
	使用料及び手数料	各施設の使用料や、証明書交付手数料など	774	1.4%
	繰入金	市の基金（貯金）からの取崩しなど	4,432	8.3%
	寄附金	ふるさと納税などによる市への寄附	2,000	3.7%
	その他	財産収入や前年度からの繰越金など	910	1.7%
自主財源計			18,796	35.2%
特定財源	地方交付税	すべての地方団体が、一定の水準を維持するための財源として、国が交付するお金	12,250	22.9%
	国庫支出金	市の行政サービスを行うために、国や県から交付されるお金	9,338	17.5%
	県支出金		5,642	10.6%
	市債	国や金融機関などからの借入金	3,937	7.4%
	譲与税・交付金 (交通安全対策特別交付金を含む)	国や県が集めた税金を各自治体へ再配分する譲与税や交付金など	3,437	6.4%
特定財源計			34,604	64.8%
歳入合計			53,400	100.0%



※ 鹿屋市は自主財源よりも
依存財源のほうが多い団
体です。

自主財源の比率が高け
れば自由に使える財源が
多く、財政運営上望まし
いとされています。自主財
源の強化が鹿屋市の重要
課題です！

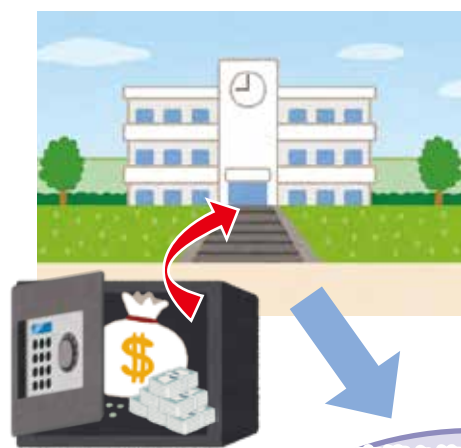


【参考】市債(借金)について

■ どうして借金をするの？

- 学校や道路などの公共施設の整備には、一時的に多くのお金が必要になります。これをその年の収入だけで賄ってしまうと他の仕事ができなくなってしまいます。
- また、公共施設は現在の市民だけではなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債（借金）を活用して世代間で平等に費用の負担をお願いしています。

もし、学校の建て替えに必要なお金を一度に支払ってしまうと…



学校の運営管理、通学路の整備、ごみの回収など他の仕事に必要なお金が足りなくなるかもしれません。

市債を使わないと…

現在の市民が建設の費用を
全額負担し
将来の市民は負担なし

市民負担

現在の市民

将来の市民

市債を使うと…

将来の
市民負担分

市民負担

現在の市民

市民負担

将来の市民

市民負担

将来の市民

市民負担

将来の市民

その年の市民
にだけ、大きな負担をお願いすることになってしまいます。

● 歳出（1年間の支出）

■ 集められたお金は、どのような目的に使われているの？

○ 市では、子育てや福祉のほか、道路や学校の整備、災害復旧など、目的に応じてお金を使っています。それぞれの目的別の経費を調べることで、何のためにお金を使うのかを知ることができます。

目的別のお金の使い方

議会費  議員の報酬や議会の運営費	総務費  庁舎の管理、税金の徴収、地域振興、防犯対策など	民生費  子ども、高齢者、障がい者の福祉増進など	衛生費  健康管理、ごみ、し尿の処理など	労働費  雇用対策、労働者の福祉向上など
農林水産業費  農業、林業、畜産業、水産業の振興など	商工費  商店街や中小企業の支援、観光振興など	土木費  道路、公園、市営住宅等の維持管理・整備など	消防費  消防業務、災害対策など	教育費  学校の管理運営、整備、スポーツ振興など
災害復旧費  大雨や台風などの災害復旧	公債費  施設整備などで借りたお金の返済	その他  預貯金など		

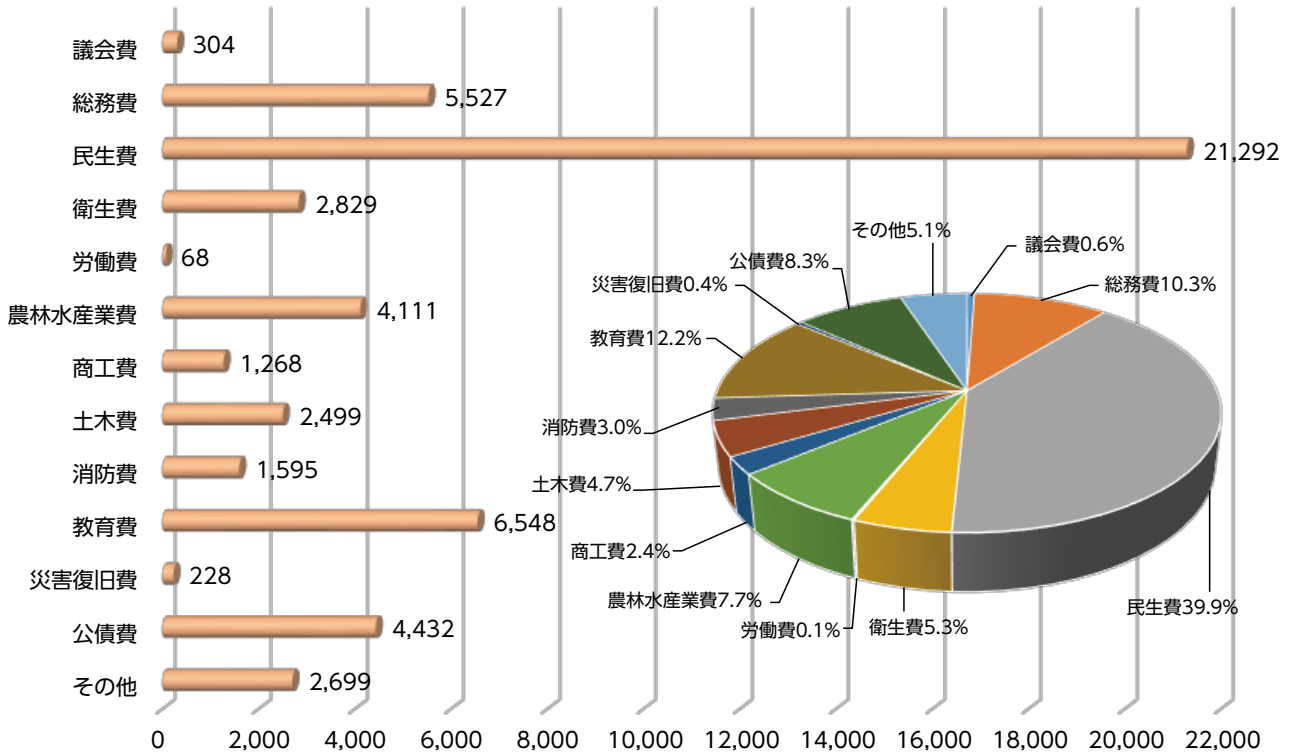
鹿屋市の令和2年度目的別歳出予算額

単位：百万円

目的	予算額	構成比	目的	予算額	構成比
議会費	304	0.6%	土木費	2,499	4.7%
総務費	5,527	10.3%	消防費	1,595	3.0%
民生費	21,292	39.9%	教育費	6,548	12.2%
衛生費	2,829	5.3%	災害復旧費	228	0.4%
労働費	68	0.1%	公債費	4,432	8.3%
農林水産業費	4,111	7.7%	その他	2,699	5.1%
商工費	1,268	2.4%	合計	53,400	100.0%

令和2年度_目的別予算額

単位:百万円



※ 鹿屋市の目的別予算額の割合では、民生費と教育費で5割を超えており、福祉や教育に多くの予算が使われていることがわかります。

【参考】予算の約4割を占める民生費

■ 民生費の中で、どんな仕事をしているの？

- 安心して子育てをするための環境整備や、障がい者の日常生活及び社会生活を支援するための取組、高齢者が充実した生活を送るための支援などを中心に仕事をしています。

子育て支援 (約 93 億円)

- 保育料軽減、定員増や保育士等の処遇改善への対応
- こども医療費の助成
- おむつ等助成券の配布
- 児童手当等の支給などによる子育て世帯の負担軽減

障がい者支援 (約 42 億円)

- 自立を支援する各種障がい福祉サービスの実施 など
- その他、国民年金・国民健康保険事業に要する経費や生活保護費など (約 38 億円)

高齢者支援 (約 39 億円)

- 介護保険、後期高齢者医療事業に要する経費 (特別会計繰出金)
- 高齢者等訪問給食サービスの実施 など

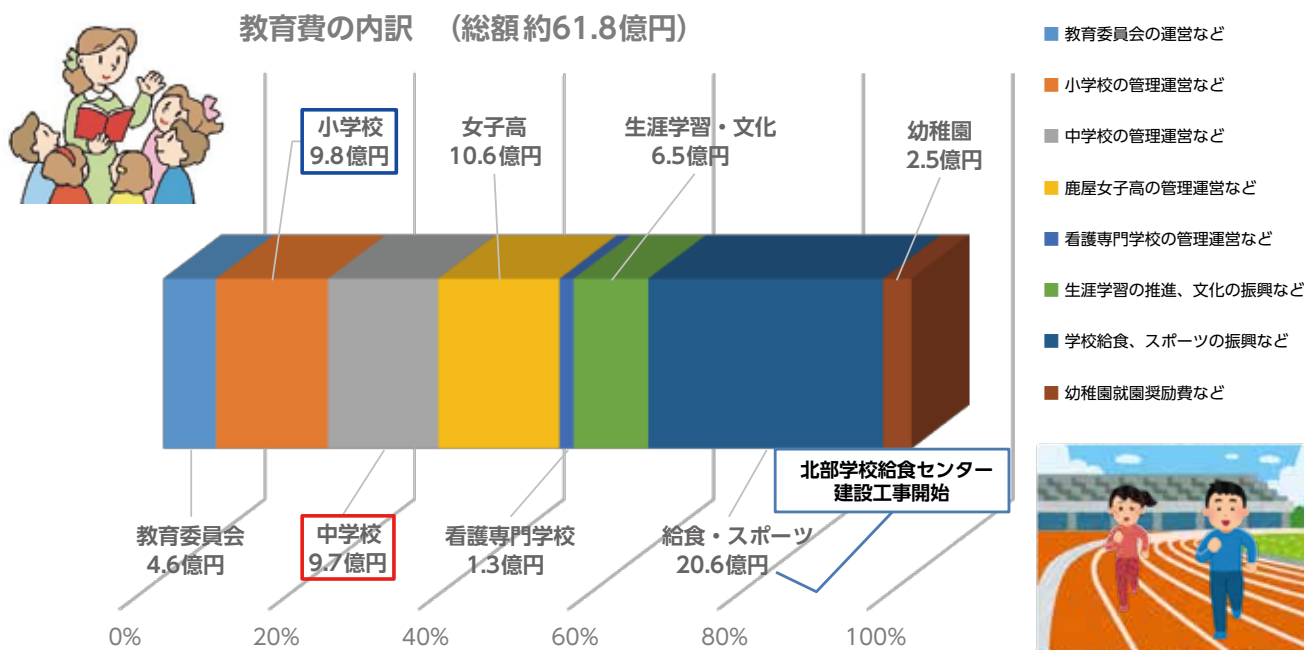
総額 約 212 億円



【参考】教育費について

■ 教育費の中で、どんな仕事をしているの？

- 教育費では、教育委員会の運営、市立の小中学校・女子高・看護専門学校で使う物品の購入や修繕、校舎を新しく建てたり改修したりする学校の管理運営にかかる仕事、また、文化・スポーツの振興にかかる仕事などを行っています。



■ 小学校の管理運営にかかる予算 (総額 約 9.8 億円)

- 児童 1 人あたりの年間の教育費 (令和 2 年度小学校費)

年間	約 152,000 円
月額	約 12,600 円

【児童数】 6,459 人
※令和元年 5 月 1 日現在



■ 中学校の管理運営にかかる予算 (総額 約 9.7 億円)

- 生徒 1 人あたりの年間の教育費 (令和 2 年度中学校費)

年間	約 319,000 円
月額	約 26,500 円

【生徒数】 3,038 人
※令和元年 5 月 1 日現在



※ そのほかに、学校生活に関係する予算として、学校給食にかかる経費やいじめ対策、特別支援教育にかかる経費などがあります。

市の予算を家計簿に例えると

- 家庭と市とでは、お金の使い道（性質）が違うので単純に比べられませんが、市民の皆さんに鹿屋市の財政事情をわかりやすく理解してもらうために、令和2年度の予算を10万分の1にして家計簿に例えてみました。（1家庭のひと月の収入を534,000円としています。）

『鹿屋市の予算』

収 入		
自主財源	市税	105億2百万円
	使用料及び手数料	32億6千2百万円
	寄附金、分担金及び負担金 など	
	繰入金	44億3千2百万円
	繰越金	6億円
依存財源	国庫支出金	149億8千万円
	県支出金	
	地方交付税	156億8千7百万円
	地方譲与税・交付金	
	市債	39億3千7百万円
収入合計		534億円

支 出（性質別）		
人件費	職員の給料や議員の報酬など	74億6千5百万円
扶助費	子ども、高齢者、障がい者などを支援するための経費	153億5千9百万円
公債費	市債（借金）の返済	44億3千2百万円
普通建設事業費	道路や公園、学校など公共施設の建設・改修	73億3千9百万円
災害復旧事業費	災害復旧にかかる経費	2億2千8百万円
物件費	物品の購入、光熱水費、委託料の支払いなどにかかる経費	68億3百万円
維持補修費	施設の維持管理にかかる経費	4億4千2百万円
補助費等	各種団体に対する助成金や負担金など	47億2千7百万円
積立金	各種基金（貯金）への積立金	20億8千3百万円
貸付金	市が一時的に貸し出す経費	
繰出金	特別会計で実施する事業に対し一般会計から支出される経費	44億7千2百万円
予備費	予定外の支出や予算を超過した支出が発生した場合に対応する経費	5千万円
支出合計		534億円

『家計簿』に例えると・・・

収 入		
自主財源	給料（市税）	10万5千円
	雑収入（使用料及び手数料）	3万3千円
	⇒アルバイト代、家賃収入など（分担金及び負担金）など	
	預貯金の取崩し（繰入金）	4万4千円
	前月の収入の残り（繰越金）	6千円
依存財源	親からの援助（国庫支出金）	15万円
	⇒使い道の決められたお金（県支出金）	
	親からの援助（地方交付税）	15万7千円
	⇒自由に使えるお金（地方譲与税）など	
	借入（ローン）（市債）	3万9千円
収入合計		53万4千円

支 出		
食費	（人件費）	7万5千円
医療費・教育費	（扶助費）	15万4千円
家のローンの返済	（公債費）	4万4千円
家の増改築	（普通建設事業費）	7万3千円
自然災害による家の補修費（災害復旧事業費）		2千円
光熱水費、日用雑貨	（物件費）	6万8千円
家や車の修繕費	（維持補修費）	4千円
町内会、サークル会費	（補助費等）	4万7千円
預貯金	（積立金）	2万2千円
知人に貸したお金	（貸付金）	
子どもへの仕送り	（繰出金）	4万5千円
支出合計		53万4千円

そのほかにローンの残高や預貯金の残高があります！

- ローンの残高（市債残高）約 402 億円 家計簿に例えると 40 万 2 千円
- 預貯金の残高（基金残高）約 168 億円 家計簿に例えると 16 万 8 千円

※ 平成 30 年度末現在高 ※ 基金については、積立基金の合計額



※ここからは、令和2年度に鹿屋市が行う主な仕事と予算額について紹介していきます！

令和2年度は、健全財政を念頭に置きつつ、第2次鹿屋市総合計画に掲げるまちづくりの将来像『**ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」**』の実現に向けて、総合計画の5つの基本目標に沿った施策を着実に推進する予算として編成しました。

予算規模 **534億円** (対前年度当初比 ▲1.3%)



特色と重点項目

Uターンの促進・産業の振興

- 移住・定住支援センターの設置 (U・Iターンの促進)
- 地元企業の就職支援サイトの構築
- 立地企業インターンシップの促進
- 企業誘致の推進
- スマート農業の推進



スポーツによる地域活性化

- 燃える感動かごしま国体・かごしま大会の開催
- スポーツ機運の醸成
 - ・オリンピック・パラリンピック関連
 - ・スポーツイベントの開催
- スポーツ施設の整備



関係・交流人口の増加促進

- 広域観光の推進 (鹿屋港からの観光誘客など)
- 地域資源を活用した平和交流の促進
- ユクサおおすみを活用した文化合宿の実施
- スポーツ合宿の誘致・促進



持続可能なまちづくりの推進(SDGs)

- コンパクトシティ形成の推進
- 環境対策(ごみ減量・CO2削減)の推進
- 地域コミュニティ活動の推進
- ICT教育の推進
- 防災・減災対策の推進
- 子育てしやすい環境整備

※ SDGs: 持続可能な開発目標
2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標
17の目標と169のターゲットからなる



「第2次鹿屋市総合計画」の基本目標と基本施策に基づく主な仕事

やってみたい仕事ができるまち (38 億 3,016 万円)

活力ある農林水産業の振興

31億8,150万円

■ スマート農業推進事業 (1,039 万円)

- 農業や畜産の現場における作業の効率化と生産性の向上を図るため、「かのや型スマート農業推進方針」に基づき、環境制御装置や農業用ドローン、アシストスーツの普及を図り、省力化・効率化や高品質生産を実現するスマート農業を推進します。



■ がんばる畑作応援事業 (6,578 万円)

- さつまいも基腐病の被害が著しい農家に対して支援を行うほか、国や県の補助制度を活用して、集出荷貯蔵施設やハウス内の暖房機及び循環扇の整備を行い、農作物の安定した生産と流通を推進し、本市農業の一層の発展及び農家の経営安定を図ります。



■ 日本一和牛ブランド確立事業 (6 億 1,609 万円)

- 「日本一和牛のふる里かのや」の確立と第12回全国和牛能力共進会(鹿児島県開催)に向けた取組として、中心的役割を担う畜産経営体の施設等の整備とともに、繁殖農家・肥育農家における生産基盤の維持・拡大に対する支援を強化します。



商工業の振興と雇用の促進

6億4,866万円

■ 企業誘致サポート事業(5 億 6,781 万円)

- 立地協定を締結した企業が行う設備投資等に対する助成や、サクラクレパス鹿児島工場の拡張に向け土地造成工事を行うことで、企業活動の促進及び市内定着を推進します。



また、企業進出・立地に向け、企業立地意向調査の実施や、サテライトオフィスの誘致に向けた取組を進めることで、仕事の創出・雇用の拡大や、本市の産業・地域の活性化を図ります。



■ 人材確保・担い手育成事業 (5,731 万円)

- 企業情報をデータベース化した就職支援サイトの構築や地元企業へのインターンシップを実施することで、高校や大学等の新規学卒者やU・Iターン希望者の地元企業への就職率を高め、定住人口の増加と産業の活性化を図ります。

また、農畜産業後継者等への機械導入支援や新規就農研修資金等の支援を行い、担い手育成・確保を通じて地域の農業の維持・発展を図ります。



いつでも訪れやすいまち (16 億 5,001 万円)

地域資源を生かした観光の推進

10億8,258万円

■ 戦争遺跡保存活用事業 (1,301 万円)

- 米国国立公文書館等から収集した戦争関連資料を活用した「戦後 75 年平和パネル展」の開催や本市に残る貴重な戦争遺跡の映像化を行い、平和をテーマとした文化・観光振興を推進します。

また、劇団 INDIGO PLANTS(インディゴ プランツ) による舞台「桜(さくら)舞(まい)～花征(ゆ)きて～」を開催し、平和の尊さを全国へ発信します。



■ 大隅広域観光推進事業 (3,502 万円)

- 船舶事業者が鹿屋港に整備する接岸施設を活用し、マリンポートかごしまに寄港したクルーズ船の乗客向け寄港地観光ツアー等を受け入れることで、観光誘客を推進し、大隅半島への交流人口の増加を図ります。また、市漁協と協力し、高速船入出港時のおもてなしイベント等を行うことで、大隅半島への交流人口の増加を目指します。



スポーツによる交流の推進

5億3,636万円

■ かごしま国体・かごしま大会開催事業 (4 億 777 万円)

- バレーボール、自転車ロードレース、ボート、また、デモンストレーションスポーツとして実施されるスポーツウエルネス吹矢の円滑な大会運営を行うとともに、花いっぱい運動などによる市民参加の取組を推進し、かごしま国体・かごしま大会を市民一体となって盛り上げます。



■ オリンピック・パラリンピック関連事業 (608 万円)

- 令和 2 年 4 月 28 日に本市において実施される東京 2020 オリンピック聖火リレーや、オリンピック・パラリンピックへの出場が期待される本市にゆかりのある選手を応援することで、選手の活躍祈願とスポーツの機運醸成を図ります。



■ スポーツ施設整備事業 (1 億 4,108 万円)

- 串良平和公園陸上競技場、鹿屋運動公園野球場・陸上競技場の改修等、施設の整備を進めることで、スポーツに取り組みやすい環境作りと、スポーツ合宿・交流の促進を図ります。

移住・定住の推進

3,107万円

■ U・Iターン促進事業 (3,107 万円)

- 都市部で働く農畜産業後継者のUターン、立地企業のインターンシップ、空き家の改修など各種支援の充実や、市内企業の情報をデータベース化した就職支援サイトの構築、看護師、保育士等の専門職をターゲットとした移住体験ツアーの開催、(仮称) 鹿屋市移住・定住支援センターの設置など、人口減少対策として、U・I ターンの促進に取り組みます。



子育てしやすいまち (35 億 8,242 万円)

子育て支援の充実

12億4,663万円

■ 子育て交流プラザ整備事業 (1,831 万円)

- 乳幼児から小学3年生までの児童及びその家族が安心して利用できる子育て交流プラザを新たに設置し、土日・祝日、雨の日でも楽しめる遊びの場を提供するとともに、各種イベントや育児相談等の充実を図るなど、子育てしやすいまちづくりを推進します。



■ 保育所等施設整備事業 (2 億 4,584 万円)

- 保育所が実施する定員増や耐震化等の施設整備の費用の一部を助成し、潜在的な待機児童の解消や安全安心な保育環境の確保を図ります。



未来につながる教育の充実

23億3,579万円

■ (仮称) 北部学校給食センター施設整備事業 (5 億 5,411 万円)

- 寿北小学校などの単独調理場や輝北・串良学校給食センターの老朽化等を踏まえ、令和3年9月の共用開始に向けて、調理能力4,000食規模の給食センターの建設に着手し、安全安心な学校給食の提供を目指します。

■ ICT 教育推進事業 (6,439 万円)

- 令和2年度から必修化となる「小学校プログラミング教育」へ対応するための教材を導入し、論理的思考力を育む学習の推進を図るとともに、デジタル教科書の導入により電子黒板等と連動させることで、視覚的な学びと表現力を育む「分かる」授業の推進に取り組みます。



■ 学校環境整備事業 (9 億 2,158 万円)

- 寿北小学校や笠野原小学校の空調化を推進するほか、生徒数の増加に伴う鹿屋東中学校の増築工事と併せて、同校の空調化を推進します。



■ 鹿屋女子校活性化事業 (5 億 4,455 万円)

- 生徒一人ひとりの進路希望に対応する総合選択制の本格導入やICT教育環境のさらなる充実など、新しい時代に対応した特色ある取組を推進するとともに、芸術系教科の特別教室等を配置する3号棟やグラウンドの改修等を実施し、平成30年度からの施設整備を完了します。



未来につながる住みよいまち (28 億 2,116 万円)

快適な生活基盤づくりの推進

21億3,430万円

■ 立地適正化計画策定事業 (1,364 万円)

- 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けて、市街地や地域拠点の利便性を高め、良好な居住環境を形成し、市街地等への居住を促進していくための立地適正化計画を策定します。

■ 道路・排水路整備事業 (6 億 7,316 万円)

- 主要な幹線道路の整備による周辺地域とのアクセス機能の向上及び農道や林道の整備による第一次産業の安定と地域住民の利便性の向上を図ります。
また、総合雨水排水対策事業計画に基づき、排水路の整備等を行い、近年多発している豪雨等による浸水・冠水被害の改善を図ります。



安全で安心な生活の実現

3億3,524万円

■ 防犯・交通安全推進事業 (3,084 万円)

- 令和3年度までに各町内会が設置している全防犯灯のLED化を行い、犯罪が発生しにくい安全安心な環境整備を図ります。また、小学校近辺の通学路へのグリーンベルトの設置や横断歩道のカラー化による安全対策を進め、交通事故の防止に努めます。



■ 防災・減災対策事業 (1 億 3,955 万円)

- 市内各所で発生している浸水・冠水の改善に向け、公共用地を活用した雨水流出抑制施設の設置を進めます。
また、平成30年度から実施している農村地域防災減災事業における排水路等の整備や、市の管理する河川の浚渫等の実施により、災害に強いまちづくりを推進します。



自然環境にやさしいまちづくりの推進

3億5,162万円

■ 環境対策推進事業 (964 万円)

- SDGs への取組の一つとして、ペットボトルキャップリサイクルを通してワクチンを届ける活動の推進や、食品ロスを低減し生ごみを削減する3010運動、かのや3キリプロジェクトの推進、また、CO2排出を抑制する取組等を実施し、市民・事業者・行政が一体となった、「自然環境にやさしいまちづくり」を推進します。



ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち (13億2,125万円)

地域福祉の充実

3億8,401万

■ 地域包括ケア推進事業【介護保険特別会計】(1億6,630万円)

- 地域包括支援センターの体制強化や、高齢者に対する地域での支え合い活動の充実など、高齢者とその家族が住み慣れた地域で、安心して生活をするのできる地域包括ケアシステムの構築を図ります。



健康づくり・生きがいの推進

5億9,749万円

■ 健康寿命延伸事業 (1,378万円)

- 市民誰もが、より長く元気に活躍できる地域を目指し、AIを活用した効果的な受診勧奨などによる生活習慣病の発症予防、重症化予防や市民の日常的な健康づくり活動の促進など、健康寿命の延伸を図る取組を推進します。



■ 次代につなぐふるさと文化事業 (418万円)

- 市民の郷土への愛着を高め、貴重な伝統文化の保存・継承を行うため、伝統芸能の映像記録やかのや風土記の編纂に取り組みます。
また、官民連携した文化合宿の実施など、令和5年度に鹿児島県で開催が予定されている「全国高等学校総合文化祭」の誘致に向けた取組を行います。



共生協働・コミュニティ活動の推進

3億3,975万円

■ 地域コミュニティ活動推進事業 (2,414万円)

- 吾平・高隈のコミュニティ協議会への支援に加え、新たに設立予定である申良地域の2つの地域コミュニティ協議会への支援を行い、地域の課題解決へ向けた体制作り及び地域コミュニティ活動の推進を図ります。
また、輝北地域において「地域全体で助け合うまちづくり講演会」を開催し、防災意識を高めるとともに、地域全体での自助・共助の機運醸成を図ります。



■ 女性が奏でるまちづくり事業 (93万円)

- SDGs への取組の一つとして、女性を中心としたワークショップ等を開催し、市民が生活の中で日々感じる課題を出し合い、拾い上げ、市政運営へ反映することで、魅力ある持続可能なまちづくりを推進します。



市政運営 (21億8,144万円)

基本目標 1 ～ 5 を効率的に進めるための体制づくり

■ RPA導入事業 (1,141 万円)

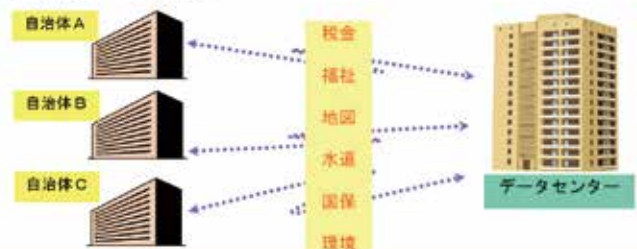
- RPAの導入により、行政事務の効率化を図る対象業務や対象部門を拡大し、ICTの積極的な活用による経費節減と生産性の向上を目指す職場改革を進めます。



■ 自治体クラウド導入事業 (780 万円)

- 情報システムに係る管理作業・職員負担の軽減とコスト削減、大規模災害時のデータ保全・業務継続性の向上などが図られる「自治体クラウド」の導入に向けて、令和元年9月に県内6自治体で設立した「かごしま自治体クラウド協議会」で確認された事項に基づき、各自治体間の情報システムの外部データセンターへの集約や共同利用するためのシステム設計、構築に取り組めます。

複数の自治体が業務を標準化の上で、同じデータセンター及びサービスを利用



■ キャッシュレス納税導入事業 (144 万円)

- 納税者の利便性向上を図るため、スマートフォンアプリやクレジットカードによる納税など、キャッシュレス決済を導入します。



市章

カタカナの「カノヤ」の文字を図案化したものです。



市旗

太陽半輪をデザインし、若さと進んだ空、海を青色で表現。その中心に大隅の中核都市機能を確認のシンボルである赤い円で表現し、「カノヤ」を金色（黄色）で図案化したものです。



市の花「ばら」

日本最大級の規模を誇る「かのやばら園」があることや地域が一体となって「ばらを活かしたまちづくり」に取り組んでいることなどから決めました。



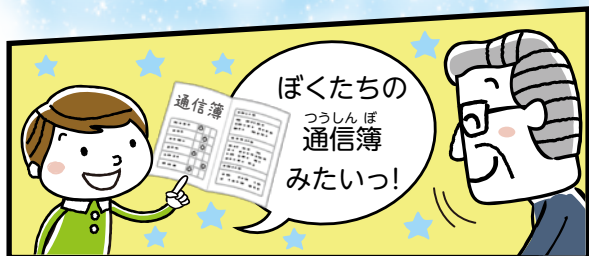
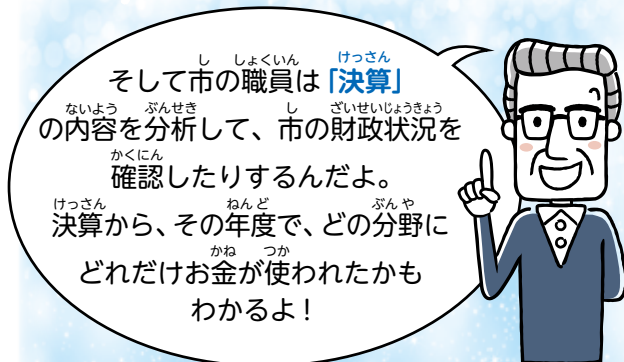
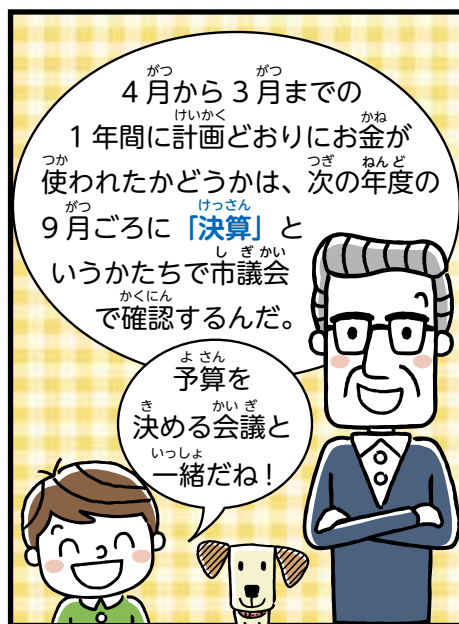
プリンセスかのや

市の木「クス」

クスは、常緑樹で成長が盛んなうえ、寿命も長い高木です。大地に深く根をおろし、青空高く、すくすくと成長する姿に、市勢の力強さと発展を願い定めました。



● 決 算



- 市は、予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

1年間に入ってくる予定のお金とその使いみちが予算でしたが、その予算を使った結果を決算と言います。

決算は、1年間に新しい年度が始まる前に決めた予算とその後の補正予算が計画どおりに使われたか、その結果（収入と支出）を表しています。

決算書は、市長が監査委員の審査を受け、市議会の認定を受けます。認定後は、「広報かのや」や「市ホームページ」などで決算の内容を市民の皆さんにお知らせしています。

- また、決算をもとに市の財政力を示す指数が求められます。中でも、財政の健全度を診断する指標「健全化判断比率」は、市議会や市民の皆さんに公表することが義務付けられています。

健全化判断比率は、4つの指標 ①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率があり、赤字や負債（借金返済）の状況など4つの視点から示すものです。

一般会計決算額の推移

(単位 百万円)

区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
歳 入	43,450	45,115	44,249	44,612	46,452	47,598	49,385	51,340	55,421	55,675
歳 出	41,942	42,851	42,684	42,714	44,507	46,015	47,736	49,028	52,900	53,106

決算で見る分野別のお金の使われ方について

- 決算から、実際にどのような分野に、どれだけのお金が使われたかを知ることができます。
- 鹿屋市の平成 30 年度の決算を見ると、幅広い分野にお金が使われているのがわかり、なかでも、**「子育て支援や教育」、「福祉・保健、医療」**のための割合が大きくなっています。

※ () は、市民 1 人あたりの額 (平成 31 年 3 月 31 日現在 101,102 人)



子育て・教育に

子育て支援、学校教育、市立学校（小中学校、鹿屋女子校、看護専門学校）の管理運営、保育所や幼稚園などの整備・運営支援、生涯学習の推進、文化財の保護、青少年育成など

141 億 3,944 万円
(139,853 円) 26.6%



福祉・保健・医療に

市民の健康増進、予防接種や生活衛生など

125 億 6,390 万円
(124,270 円) 23.7%



行政の運営などに

庁舎等の管理、市の計画策定、選挙、監査、議会の運営など

78 億 9,411 万円
(78,081 円) 14.9%



道路や学校の建設などに活用した市債の返済に

事業を実施するために借り入れた市債の償還

43 億 1,002 万円
(42,630 円) 8.1%



農林水産業の振興に

農林水産業の経営体制・生産基盤の強化、農作業の省力化・生産性向上、担い手確保など

38 億 6,100 万円
(38,189 円) 7.3%



道路や住宅、公園など計画的なまちづくりに

道路や河川、都市公園、市営住宅等の整備・維持管理、都市計画など

32 億 5,904 万円
(32,235 円) 6.1%



防災、災害復旧に

消防、防災や災害復旧など

30 億 224 万円
(29,695 円) 5.7%



産業振興や観光の推進に

企業誘致・立地の促進、商工業の振興、雇用の促進、観光 P R など

16 億 6,155 万円
(16,434 円) 3.1%



環境対策に

ごみの処理や減量・リサイクル、不法投棄防止対策など

15 億 1,613 万円
(14,996 円) 2.9%



このほかの地域振興策に

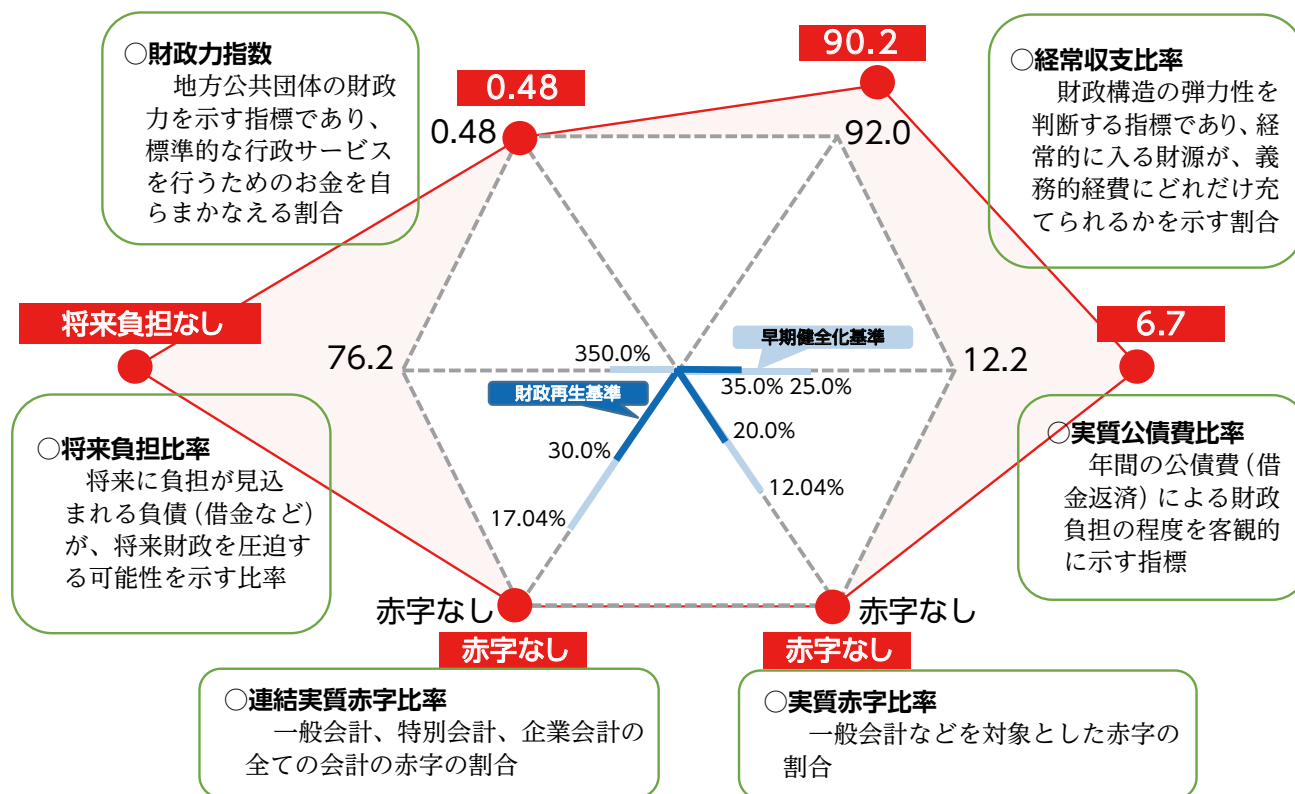
交通対策、スポーツ振興、地域づくりや市民活動支援など

8 億 9,854 万円
(8,888 円) 1.6%

歳出合計 531 億 597 万円 (市民 1 人あたり予算 525,272 円)

【参考】財政指標の比較（H21年度決算とH30年度決算との比較）

平成21年度をベースとした平成30年度決算との比較
(※グラフの外に行くほど改善)



年度	財政力指数	経常収支比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
H30年度	0.48	90.2	赤字なし	赤字なし	6.7	将来負担なし
H21年度	0.48	92.0	赤字なし	赤字なし	12.2	76.2
差	0.00	▲ 1.8	-	-	▲ 5.0	▲ 76.2

(単位 ٪)

区分	鹿屋市の 数値	国の定める健全化基準		
		早期健全化基準	財政再生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率	赤字なし	12.04	20.0
	連結実質赤字比率	赤字なし	17.04	30.0
	実質公債費比率	6.7	25.00	35.0
	将来負担比率	将来負担なし	350.00	

※早期健全化基準… 議会の議決を経て「財政再生計画」の策定、議会への実施状況報告、公表が義務付けられる。

※財政再生基準……財政再生団体として国の関与を受けながら、地方債の発行制限を受けるとともに、議会の議決を経て「財政再生計画」策定、議会への実施状況報告、公表が義務付けられる。

○平成30年度決算における財政健全化を判断する指標のいずれも、国の定める基準の範囲内であることから、鹿屋市の財政状況は健全な状態にあると言えます。



無料

ごみ出し日やイベント情報を知らせてくれる

鹿屋市総合アプリ **かのやライフ**

機能ご紹介

基本メニュー

ホーム

お知らせ

イベント

ごみ分別

ごみ収集カレンダー

ごみの出し方

ごみ分別情報

避難所マップ

地域のイベント

防災・安全情報

お問い合わせ

利用規約

プライバシーポリシー

お問い合わせ

カメラで設定した市役所からのお知らせを一覧表示

カメラで設定したイベント情報の一覧表示

設定した地域のごみ収集カレンダー表示やごみの出し方ポイント、写真投稿など、現地域から情報センターへのルートが表示されます。
(近隣環境自治体の例)

道路の穴ぼこやごみの不適当な置放など、見つけたときに報告して市役所へ投稿できる機能。
「みんなの地域レポート」では投稿内容が閲覧できます。

消防署等の広域消防隊を閲覧できます。
隣接地域の避難所が表示されます。
隣接地域の AED マップが表示されます。

お知らせ、イベント、ごみ収集日は常時アップデート可能

お知らせ一覧

イベント一覧

ごみ収集カレンダー

地域のレポート

避難所マップ

防災・安全情報

下記の QR コードを読み取り、ダウンロードページでアプリをダウンロードしてください。

総合アプリお問い合わせ先

鹿屋市役所

TEL : 0994-43-2111

Email : daihyo@e-kanoya.net

Android の方はこちら

Google Play

Google Play のロゴは、Google Inc. の商標です。

iOS の方はこちら

App Store

App Store のロゴは、Apple Inc. の商標です。

鹿屋市総合アプリ

かのやライフ

暮らしに役立つ情報 **ギョツ** とお届け！

通知あり

ごみ分別

投稿機能

地域のレポート

通知あり

祭イベント

NEW

避難所

通知あり

前日・当日にごみ出しを通知

イベント情報満載

避難所の位置を確認

お住いの地区のごみ出し日を表示

通知を受けたいごみの種類を選択可能

前日・当日の通知を自由に設定

正しい分別で環境にやさしくなる

下記の QR コードを読み取り、ダウンロードページでアプリをダウンロードしてください。

Android の方はこちら

Google Play

Google Play のロゴは、Google Inc. の商標です。

iOS の方はこちら

App Store

App Store のロゴは、Apple Inc. の商標です。

総合アプリお問い合わせ先

鹿屋市役所

TEL : 0994-43-2111

Email : daihyo@e-kanoya.net